

名鉄名古屋本線鉄道高架化事業

名古屋鉄道名古屋本線加納駅・茶所駅付近連続立体交差事業

加納・茶所統合駅周辺土地区画整理事業

(都) 岐阜駅那加線道路改良事業

境川河川改修事業



令和4年1月UAVにて撮影（阪空運第4963号）

写真に完成イメージを重ね合わせたものであり、変更となる可能性があります。

岐阜県・岐阜市

連続立体交差事業とは

連続立体交差事業は、都市部における道路整備の一環として、道路と鉄道との交差部において、鉄道を高架化することによって、多数の踏切を一挙に除却し、踏切渋滞・事故を解消するなど、都市交通を円滑化するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化を促進する事業です。

連続立体交差事業概要

事業名称	名古屋鉄道名古屋本線加納駅・茶所駅付近連続立体交差事業
事業延長	2,049m（名鉄高架化事業全体 2,792m）
事業期間	令和4年度～令和18年度（予定）
交差道路	都市計画道路（4路線[うち、新規1路線] その他道路（12路線[うち、新規3路線、既設立体1路線] 踏切除却13箇所
側道整備	11路線（名鉄高架化事業全体12路線）
高架駅	【仮称】統合駅（現在の加納駅と茶所駅を統合）
高架化方式	複線仮線方式
都市計画決定	令和2年3月31日
都市計画事業認可	令和4年2月28日

地域の課題



- 開かずの踏切：1日のうち、最も踏切による遮断時間が長い時間帯（ピーク時）が40分/時以上となる踏切
- ボトルネック踏切：当該踏切における自動車（二輪のものを除く）の1日あたりの交通量と踏切遮断時間を乗じた値が5万台時/日以上となる踏切

名鉄高架化事業の内容

名鉄名古屋本線の名鉄岐阜駅と岐南駅間の約2.8kmを高架化することで踏切を除却するとともに、加納駅と茶所駅を統合した【仮称】統合駅を整備します。

また、関連事業である、加納・茶所統合駅周辺土地区画整理事業をはじめ、鉄道と交差している道路の拡幅や側道も併せて整備し、まちづくりを推進します。

名鉄高架化事業の目的と効果

✓ 踏切渋滞・事故の解消

慢性的な渋滞や踏切待ちを解消するとともに、踏切の除却により踏切事故を解消します。

✓ 車両や歩行者の流れの円滑化

鉄道が高架化し、新たな交差道路が整備され、円滑な道路交通が確保されます。

✓ 騒音・振動の改善

2箇所のカーブを緩くすることで、列車の走行による騒音・振動が改善され、より良い環境となります。

✓ 密集市街地解消による防災力の向上

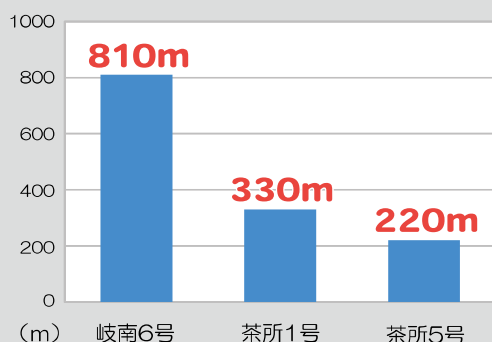
鉄道の高架化と併せ【仮称】統合駅を中心としたまちづくりを行い、狭小道路や木造住宅が密集している市街地を解消することにより、防災面や地区内交通の利便性・安全性が向上されます。

✓ 高架下空間の有効活用

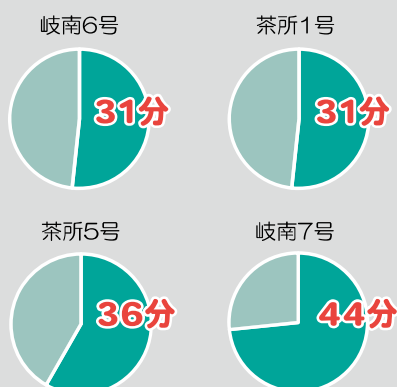
鉄道を高架化することにより新たに生み出される高架下空間は、商業開発、公共的な利用を図るなど、様々な有効活用が見込まれ、新たなにぎわいの場が創出されます。



踏切遮断による渋滞の最大の長さ



踏切の1時間あたりの遮断時間

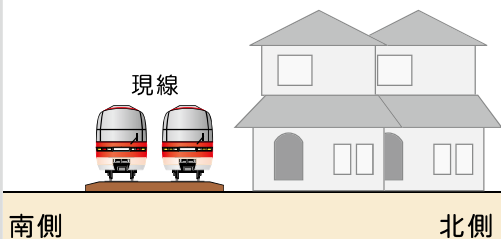


データ：令和元年度調査

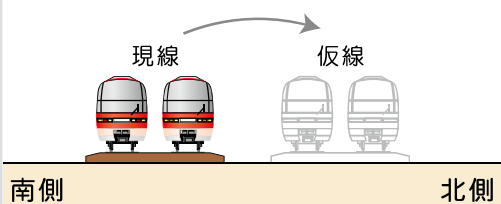
鉄道の高架化で
踏切渋滞などの
課題が解消!

施工順序

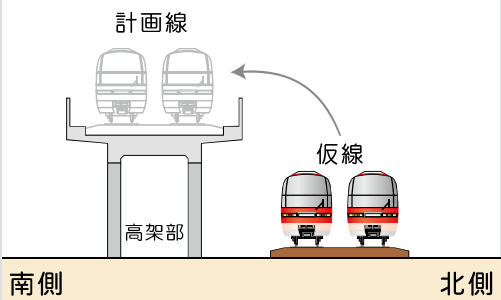
① 現況



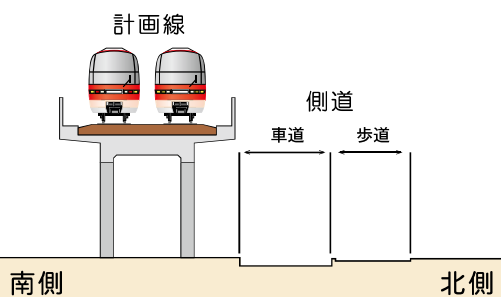
② 仮線工事及び切替



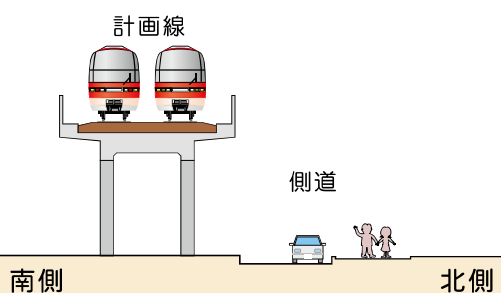
③ 高架化工事及び切替



④ 仮線撤去・側道等整備



⑤ 事業完了



事業の流れ

都市計画事業認可



用地測量・用地取得



※仮線工事



※仮線切替



計画線工事



計画線切替



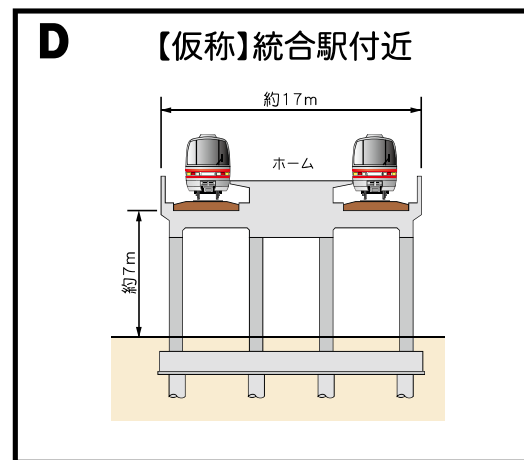
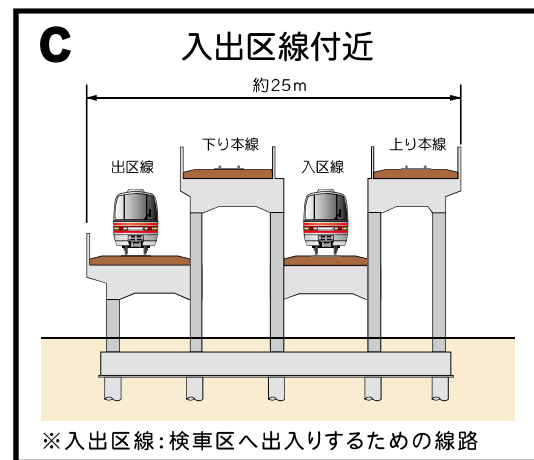
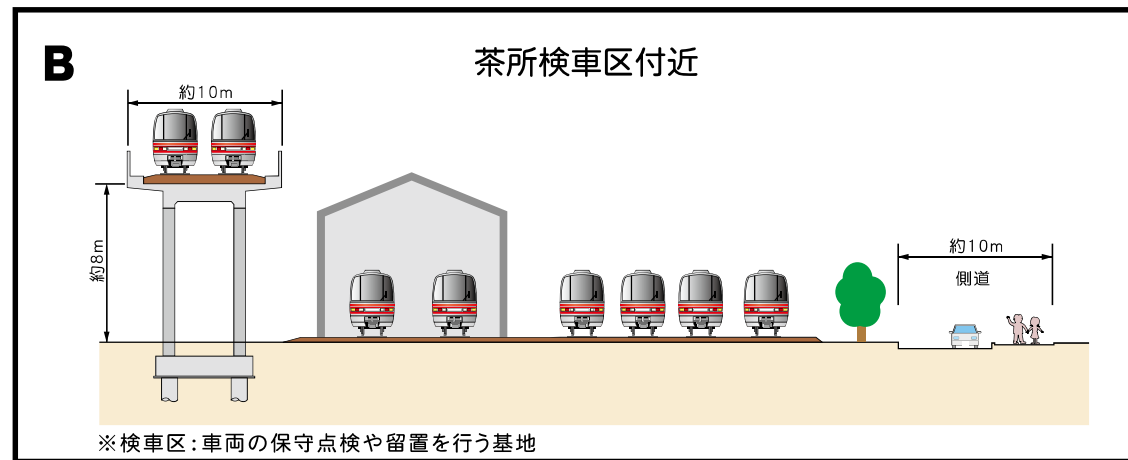
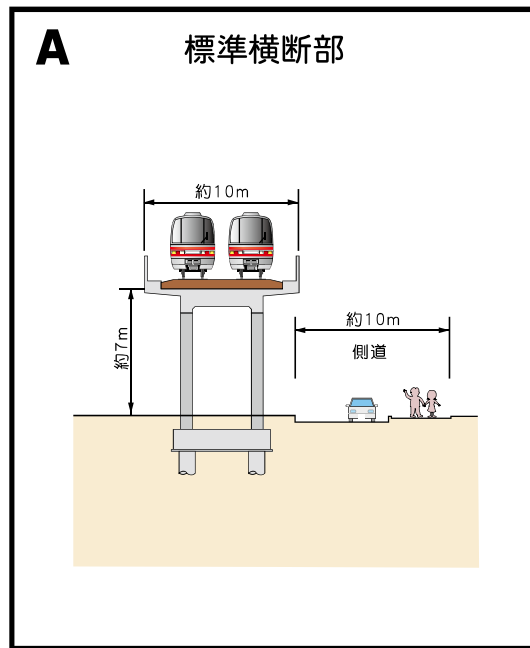
※仮線撤去・側道等整備



事業完了

※仮線(かりせん):高架化工事中に鉄道が運行できるようにするための仮の線路

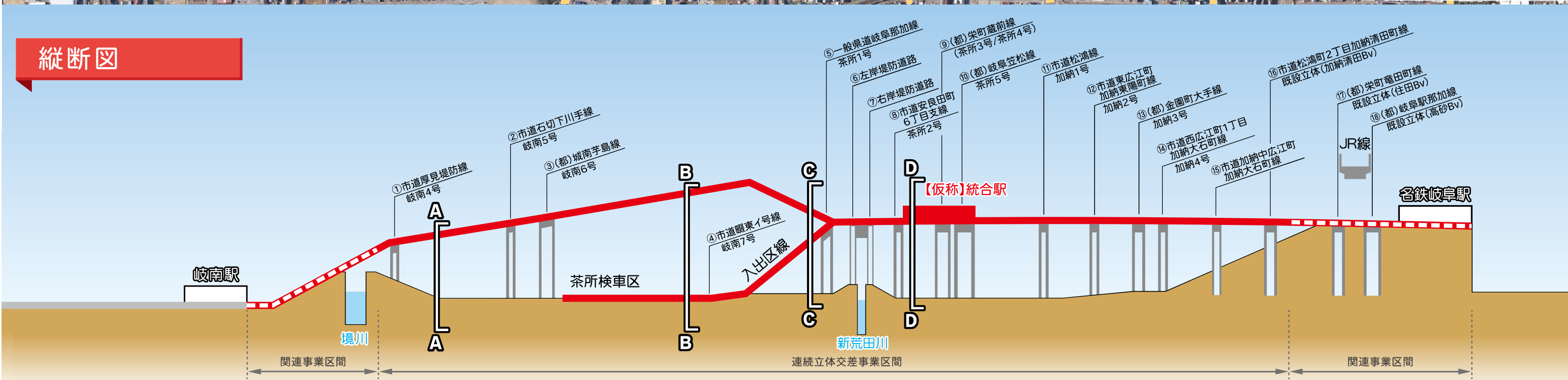
横断図



平面図



縦断図



関連事業

加納^{ちや じよ}・茶所^{ちや じよ}統合駅周辺土地区画整理事業

名鉄名古屋本線の高架化により新たな交通拠点として整備される、加納駅と茶所駅の統合駅を中心としたまちづくりを進めます。道路、駅前広場などの公共施設を整備することにより、安全・安心で利便性の高い快適なまちづくりを行います。

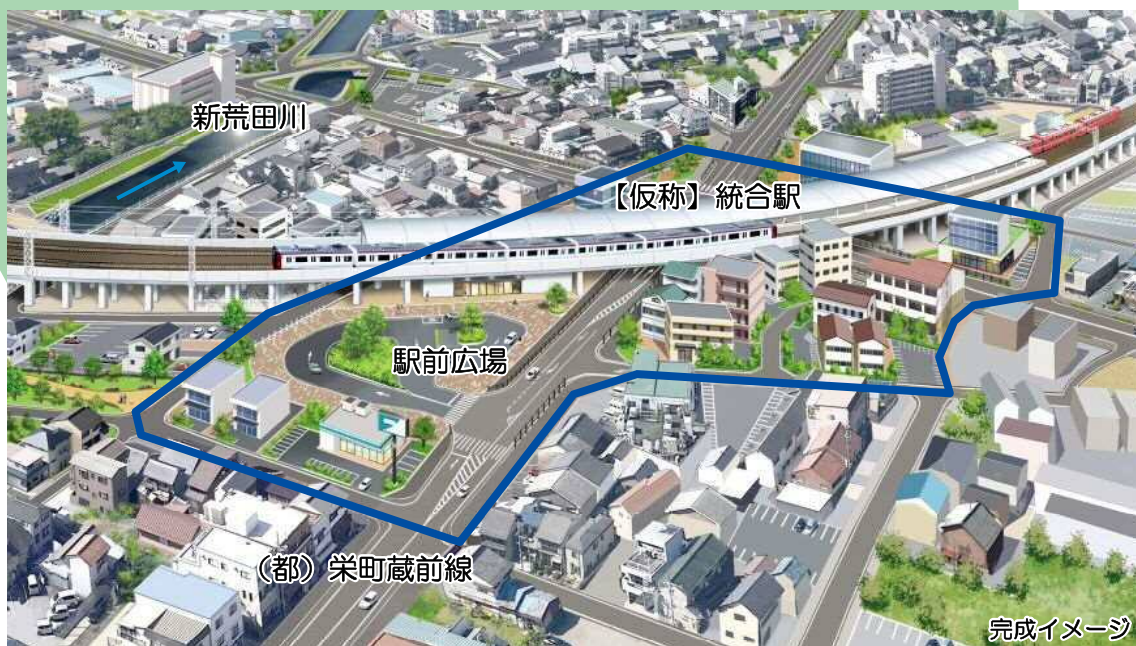
《事業概要》

事業名称：加納・茶所統合駅周辺土地区画整理事業

施行面積：約2.0ha

事業期間：令和4年度～令和20年度（予定）

施行者：岐阜市



境川河川改修事業

一級河川境川と名鉄名古屋本線が交差する部分の河川の断面が小さく、はん濫の恐れがあるため、鉄道の高架化と併せて橋梁を架け替え、川底を掘り下げることにより、治水安全度を高めます。

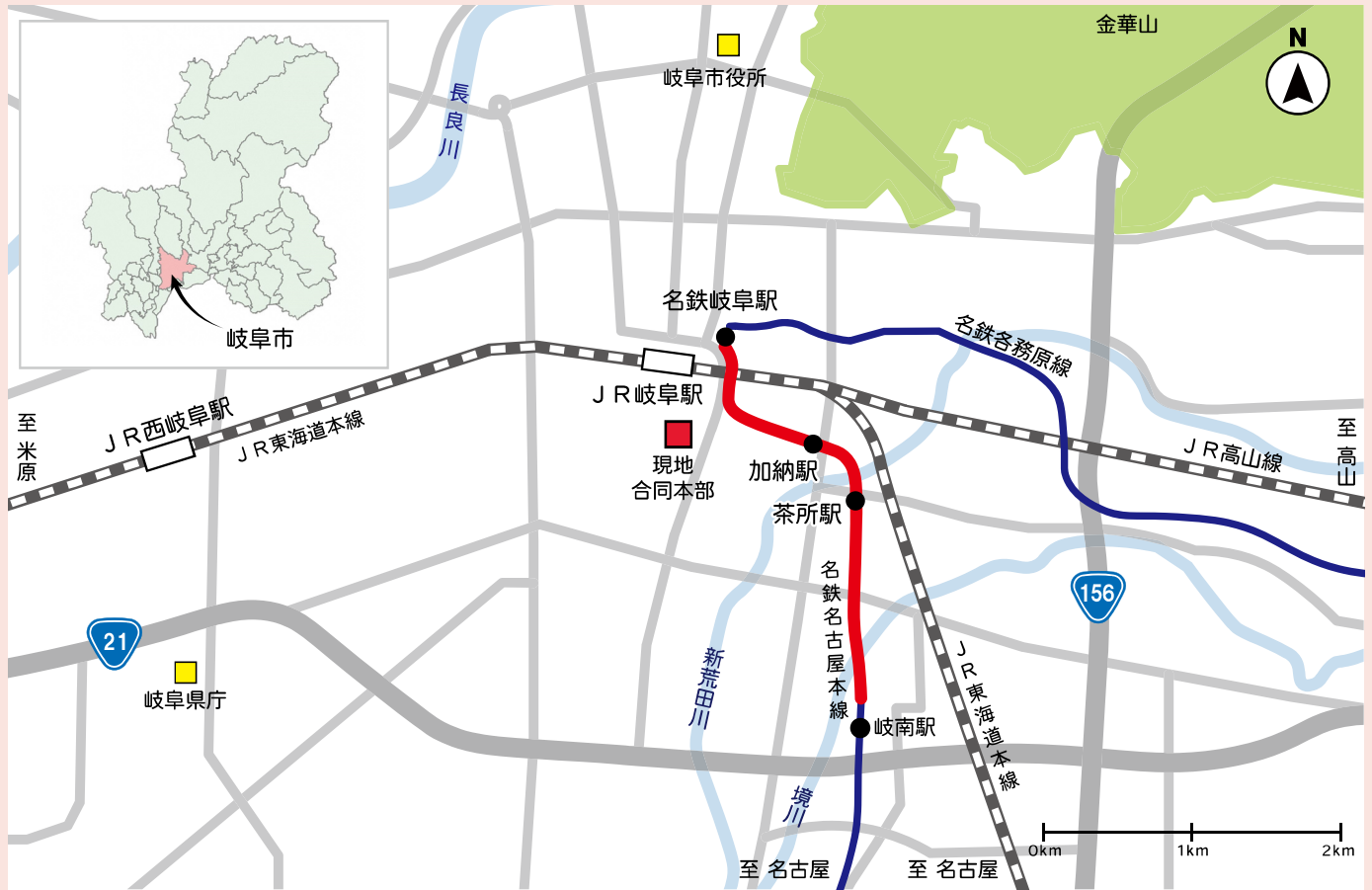
(都) 岐阜^{な か}駅那加線道路改良事業

(都) 岐阜駅那加線と名鉄名古屋本線が交差する区間の道路幅員が約3.6mと狭く、車両や歩行者の通行の安全が確保できていないため、鉄道の高架化と併せて道路の拡幅を行い、安全かつ円滑な交通の確保を行います。

(施行者：岐阜市)



位置図



事業経緯

昭和45年度	鉄道高架事業の調査着手
昭和53年度	鉄道高架事業案を都市計画審議会が審議し県に答申
平成7年度	岐阜駅周辺名鉄線連続立体交差事業連絡協議会設立
平成8年度	名鉄高架事業に係る沿線住民会議設立
	名鉄高架事業基本構想素案策定（名古屋本線・各務原線）
平成11年度	新規着工準備採択
平成12年度	名鉄高架事業基本構想案策定（名古屋本線）
平成24年度	整備方針（名鉄岐阜駅側約1.5kmを先行整備）
平成26年度	整備方針（全区間を一括施行する方針に変更）
令和元年度	岐阜県・岐阜市・名鉄の3者による高架化事業に関する覚書締結
令和元年度	都市計画決定
令和3年度	都市計画事業認可

令和4年4月作成

お問合せ先



鉄道高架化事業現地合同本部

〒500-8429 岐阜県岐阜市加納清水町4丁目2番地

岐阜県 岐阜駅周辺鉄道高架工事事務所（2階）

TEL：058-213-1995 E-mail：c26125@pref.gifu.lg.jp

岐阜市 加納・茶所統合駅周辺整備事務所（1階）

TEL：058-214-8350 E-mail：ekiseibi-j@city.gifu.gifu.jp

